JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
キッチン・バス工業会

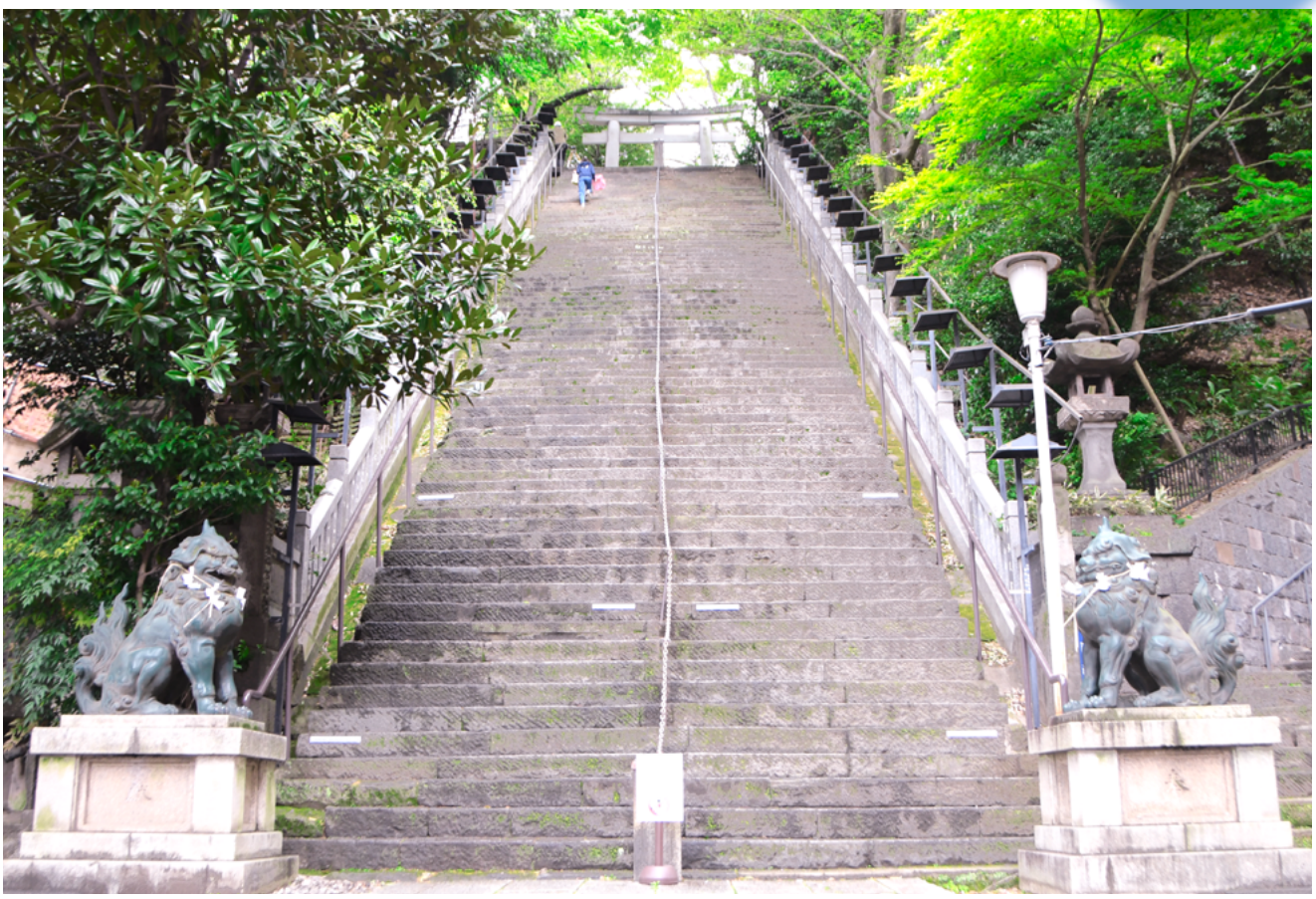
発行日：2023.6.20 広報専門委員会

2023.6 No.25

K・B通信

キッチン・バス工業会の活動をお知らせします

広めよう 11月2日は キッチン・バスの日



【愛宕神社　出世の石段】■縁起のいい名前をもつ急勾配の石段は86段。寛永11年（1634）、ある武士が誰も試みなかった騎馬にてこの石段を駆け上り、山頂の梅花を手折ってまた下り、下で待つ三代将軍徳川家光に献上したという。その功績が称えられ、武士はその後大出世したというエピソードがある。（港区愛宕1-5-3）

CONTENTS

記事名をクリックすると該当ページに飛びます。

■ 巻頭言
『K・B通信』No.25発行にあたり …… 2
■ 工業会情報
2023年度 公式行事 …… 2
会長退任と交代のご挨拶・会長就任のご挨拶 …… 3
2022年度 第2回 会長報告会 …… 4
2023年度 第1回 理事会 …… 4
新任理事ご挨拶 …… 5
新規会員ご紹介 …… 5
代表者変更のお知らせ …… 8
2023年度（第39回）定時総会 開催 …… 9
2023年度 第2回 懇親ゴルフ会開催 …… 9
2023年度 工業会役員体制 …… 10
2023年度 各委員会 正・副委員長名簿 …… 11
■ 委員会活動
JFEスチール様（西日本製鉄所／倉敷地区）を視察 …… 12
西部ガス様（ひびきLNG基地）、九州電力様（八丁原地熱発電所）を視察 …… 13
■ TOPICS
各委員会2023年度事業計画 …… 14
第19回「台所・お風呂の川柳」募集開始 …… 16
■ 統計情報
2022年度 自主出荷統計概況 …… 17
■ 行政情報
住宅省エネ2023キャンペーンの交付申請（予約を含む）の受付開始、他 …… 18
■ VOICE
秋野顧問弁護士 …… 20
■ 事務局
お知らせ …… 21
編集後記 …… 22

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023

巻頭言

『K・B通信』No.25発行にあたり

平素はキッチン・バス工業会の活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この5月から新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられたことによる様々な制限の緩和によってイベントや行事の復活、あるいは海外からの旅行客も街中で多く見受けられるようになるなど、社会経済活動が一気に活発化してきていると感じられます。

当工業会でも先日久方ぶりに多くの会員様参加による総会・懇親会を開催することができました。昨年度には多くの新入会員様を迎え88社の会員を抱える団体となってより一層の会員相互の交流促進が重要となる中で、今回のリアル参加を基本とした会合が開かれたことは大変うれしく思います。国の施策においては「こどもエコすまい支援事業」など住設業界に関連する動きもある中、経済情勢を鑑みるとインフレや円安・ドル高問題など我々の業界や消費者にとって取り巻く状況は決して芳しいものではありません。こういった厳しい時にこそ会員企業がしっかりコミュニケーションをとり一丸となって対処することで、消費者が支援施策のメリットを享受し業界の活性化につながるようにしていかなければなりません。

当工業会も2025年には60周年を迎えます。そこに向けた活動や、19回目を数える「台所・お風呂の川柳」の募集も始まりました。これらの活動も盛り上げつつ、業界のさらなる発展を目指して活動してまいりましょう。

当工業会ならびに会員各社のますますの飛躍を祈念するとともに、引き続き皆様のより一層のご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

キッチン・バス工業会 副会長
トクラス株式会社
代表取締役社長
小泉 和弘

工業会情報

2023年度 公式行事（2023年4月1日現在）

工業会行事日程	行事内容
2023年　4月20日（木）	2023年度 第1回 理事会（14:00～15:50） 懇親会（16:00～18:00）【リーガロイヤルホテル東京】
2023年　5月25日（木）	2023年度 定時総会・第1回全員懇談会／懇親パーティ （15:00～16:30／16:45～18:15）【リーガロイヤルホテル東京】
2023年　5月26日（金）	懇親ゴルフ会【相模原ゴルフクラブ】
2023年　9月14日（木）	2023年度第2回 全員懇談会／懇親パーティ （14:00～16:00／16:15～18:00）【リーガロイヤルホテル京都】
2023年　9月15日（金）	懇親ゴルフ会【城陽カントリー倶楽部（京都）】
2023年 11月 2日（木）	「キッチン・バスの日」式典 第19回 川柳優秀作品表彰式（14:00～16:00）【日本工業倶楽部】
2024年　1月12日（金）	2024年 新年賀詞交歓会（17:00～19:00） 運営諮問会議（15:30～16:30）【明治記念館】

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

キッチン・バス工業会 会長退任と交代のご挨拶

前会長　松下 芳朗
（パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社 常務執行役員）

退任にあたりご挨拶申し上げます。

新型コロナ感染症もようやく流行が落ち着き、経済活動もコロナ前と変わらないものになりつつあります。ただロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー供給不安、材料価格の高騰等、まだまだ日本経済を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

この1年間、当工業会ではコロナ禍の制限はあったものの対策を万全に行い、皆様と直接お会いする場を設けてきました。また、こどもみらい住宅支援事業及びこどもエコすまい支援事業についての取り組み、物流課題に対するガイドラインの策定と啓発等、成果を残すことができました。

また2025年には、工業会創立60周年を迎えます。現在の工業会の立ち位置を俯瞰し、今後の工業会の立ち位置を見つめ直す良い機会だと思います。今後の工業会のあるべき姿について、皆様の積極的な議論を期待しています。個人的には会長職の経験が、私自身の大きな財産になったことは間違いありません。

この経験を活かし新たな気持ち、引き締まった気持ちで次のステージに挑みたいと思います。

キッチン・バス工業会風に五・七・五で今の気持ちを表すと

「 夏風や 大役終えて 凛とする 」笑笑

この1年間、工業会活動を共に支えていただきました副会長と理事の皆様、事務局、委員長、各社の委員様に感謝と御礼を申し上げ、会長退任のご挨拶とさせていただきます。

キッチン・バス工業会 会長就任のご挨拶

新会長　西尾 匡史
（パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社 代表取締役 副社長執行役員 水廻りシステム事業部長）

この度、松下前会長からバトンを受け、会長を務めさせていただくことになりました、パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社の西尾です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

就任にあたりご挨拶を申し上げます。

世界的な新型コロナウイルス感染症に関しては落ち着いたものの、国際情勢にいたっては混迷を深め、エネルギー価格や物価の上昇、為替の乱高下、資材の調達困難など、厳しい状況が続き、日本経済を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況であります。住宅設備業界においても、政府が掲げる2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、工業会が一丸となり、積極的な取り組みが必要です。

このような状況のもと会長の大役を仰せつかり、大変身の引き締まる思いです。『住環境を通じた豊かな国民生活の実現と安全な社会の醸成への貢献』というキッチン・バス工業会に課せられた使命と役割を認識し、会員各社をはじめ関係省庁、関連団体の皆様と密に連携し、この状況を変えていきたいと思います。

結びになりますが、工業会の発展のため微力ながら尽力してまいりますので、ご指導賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

2022年度 第2回 会長報告会

2022年度第2回会長報告会が、2023年3月10日（金）、キッチン・バス工業会会議室で開催されました。会長報告会に先立ち、委員長会議を行い、新委員長3名を交えた14名の委員長が、取り組んでいる活動を共有し合いました。

会長報告会は、常設委員会（6）、特別委員会他（4）の委員長が工業会会議室とオンラインで参加し、2022年度事業報告と2023年度事業計画（案）を報告しました。松下会長は工業会会議室にて出席、いくつかの質疑が行われ、「各委員会の活動がつながりをもち工業会が一体化した活動となっている」と述べられました。報告会終了後、会長と委員長による懇親会を行い、さらなるコミュニケーションの醸成を図ることができました。

会長報告会議事次第

1. 松下会長挨拶
2. 各委員会進捗報告
   (1) 総務委員会（若尾委員長）
   (2) 技術委員会（キッチン・洗面：西岡田委員長）
   （浴室：行森委員長）
   (3) 調査統計委員会（垣田委員長）
   (4) PL関連委員会（畑委員長）
   (5) 情報化推進委員会（中溝委員長）
   (6) 消費者関連委員会（佐分委員長）
   (7) 中企税関連特別委員会（酒井委員長）
   (8) こどもエコすまい支援事業特別委員会（小林委員長）
   (9) 物流課題特別委員会（野村委員長）
   (10) ジェット噴流バス啓発委員会（中村副委員長）
3. 事務局報告
   ・2023年度 委員会開催日程、公式行事、他

2023年度 第1回 理事会

2023年度の第1回理事会が、2023年4月20日（木）、明治記念館「末広」で開催されました。新型コロナウイルスの影響が続くなか、昨年に引き続きリアルとWeb併用での開催となりましたが、以下の議事はスムーズに進行し全ての審議事項が承認されました。

■ 第1回理事会 概要

1. 審議事項
   (1) 2022年度事業報告及び2023年度事業計画（案）
   (2) 2022年度事業収支決算報告及び2023年度収支予算（案）
   (3) 2023年度役員体制（案）
2. 報告事項
   (1) 会員移動について〈入会、退会、社名変更、代表者変更〉
3. 特別報告
   (1) こどもエコすまい支援事業特別委員会の設置について
   (2) 物流課題特別委員会の1年継続について
   (3) 中企税関連特別委員会の2年延長について
4. 事務局報告
   ・2023年度第19回川柳事業について
   ・定時総会について
   ・今後の行事日程〈公式行事・委員会開催日程他〉

議長　松下会長

会場風景

■ 懇親会

理事会閉会後、「相生」に席を移し、着座式の懇親会を行いました。今回は理事と委員長（総数39名）が出席し、今後の活動に向けて、いっそう理事と委員長の相互交流を深める機会になりました。

乾杯のご挨拶　小泉副会長

中締めのご挨拶　種田理事

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

新任理事ご挨拶

未来を つむぐ エネルギー
TOKYO GAS GROUP

東京ガス株式会社
カスタマー&ビジネスソリューションカンパニー 総合設備事業部長
兼　東京ガスリビングアドバンス株式会社 代表取締役社長
吉村 恒
（よしむら こう）

この度、理事に就任いたしました吉村でございます。平素は会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社グループは、取り巻く環境変化を踏まえ、「エネルギー安定供給と脱炭素化の両立」や「ソリューションの本格展開」などを主要戦略とした2023-2025年度中期経営計画を策定いたしました。

これからは、個々のお客さまの生活やエネルギーの使い方の変化に合わせ、様々な方々と共創させていただき、商品やエネルギーをリアルの強みとデジタルを融合して提供し、よりお客さまのお役に立てるよう変革してまいります。

今後とも会員の皆様と共に、キッチン・バス工業会の発展に向け、微力ながら精一杯取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

新規会員ご紹介 ※社名・団体名五十音順

Arromic

株式会社アラミック
代表取締役　佐藤 宏彦
（さとう ひろひこ）

本社所在地 ： 〒562-8555 大阪府箕面市船場東1-12-5
主な取扱品目 ： 高機能シャワーヘッド、バス用品とキッチン回りの家庭用品の企画・開発・販売
ホームページ ： https://www.arromic.co.jp/

この度、キッチン・バス工業会に入会させていただきました株式会社アラミックと申します。

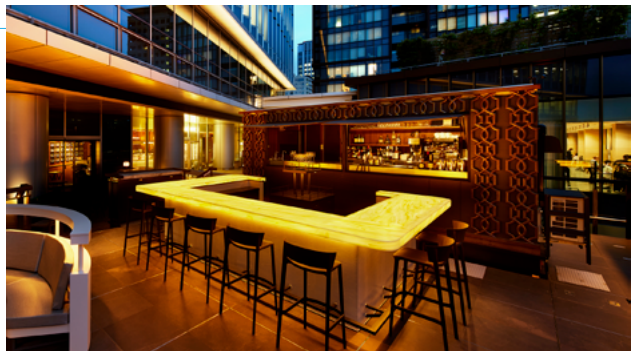
弊社は大阪府箕面市に本社を構えるキッチン・バス関連用品メーカーです。シャワーヘッドを中心としたバス用品とキッチン回りの家庭用品の製造、ヘアケア製品の取り扱いをいたしております。特にシャワーヘッドは近年目覚ましく発展しており、脇役から重要な要素の一つになりつつあるものだと思います。提供する側である我々も、責任と期待の高まりを感じております。

これまで工業会の皆様が作り上げてきたキッチン・バス文化に寄り添って、社業を発展させてまいりました。今回の入会を機に、会員の皆様から真摯に学び、キッチン・バス文化創造の一翼を担えればと考えております。

何卒ご指導ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

新規会員ご紹介 ※社名・団体名五十音順



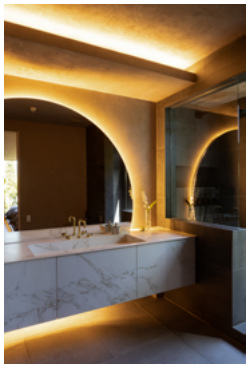
INTEC

株式会社インテック
代表取締役社長　神田 哲矢
（かんだ　てつや）

本社所在地：〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-43-23 サウスポイント三鷹5F
主な取扱品目：コーリアン®及び各種人工大理石の設計・施工・加工、販売及び内装関連工事、住宅設備関連商品の販売、洗面カウンター＆ボウル（オリジナル規格品）の販売
ホームページ：https://www.intec-net.co.jp/

この度、キッチン・バス工業会に入会させていただきました株式会社インテックの神田と申します。

弊社は、各種人工大理石や人造大理石を使用し、オーダーメイド専門で、カウンターや什器を提供している特注加工品メーカーです。38年間、経営方針にもあります「お客様の要望を傾聴し価値ある物づくりに励みます」の考えを中心に、お客様のお困りごとに弊社の技術ノウハウを掛け合わせ、良い仕事につながるよう尽力しております。



キッチン・バス工業会の会員として、皆様と共に工業会の発展に貢献できるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

Wellnest Home

株式会社WELLNEST HOME
代表取締役社長　芝山 さゆり
（しばやま　さゆり）

本社所在地：〒467-0006 愛知県名古屋市瑞穂区御茵町2-15-4
主な取扱品目：パッシブデザイン住宅の設計・施工、省エネ賃貸住宅設計・施工
ホームページ：https://wellnesthome.jp

この度、キッチン・バス工業会に入会させていただきました株式会社WELLNEST HOMEと申します。私たちは世界基準の超省エネ住宅の販売、設計を行っている工務店です。これまでの会員の皆様とは少し立ち位置が異なりますが、貴重なご縁をいただき、この度本会に入会させていただく運びとなりました。家づくり、まちづくりから持続可能な社会を作ること、未来の子どもたちのためになる社会を残すことを使命として取り組んでおります。建築会社の視点から闊達な意見交換をさせていただき、本会の発展に努めさせていただく所存です。そして会員の皆様と共に持続可能な社会づくりを果たしていきたく思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

新規会員ご紹介 ※社名・団体名五十音順

TRES

株式会社トレス
代表取締役　太田 光茂
（おおた みつしげ）

本社所在地：〒591-8025 大阪府堺市北区長曽根町130番地42 S-Cube 212号室
主な取扱品目：
キッチン取付け隊®
Kitchen Torituke Team
システムキッチンのビルトイン機器取付け・取替えサービス
https://torituketai.jp/
DIY KITCHEN®
誰でも簡単に組立が出来るシステムキッチン販売
https://diykitchen.jp/

この度、キッチン・バス工業会に入会させていただきました株式会社トレスと申します。弊社は、『喜ばれるを、楽しめる』という理念に基づき、キッチンユーザー様へのビルトイン機器リフォーム工事サービス【キッチン取付け隊】・誰でも組立可能なシステムキッチンの販売【DIYキッチン】を全国でオンラインにて展開させていただいております。2つの事業には裏ミッションとして、日本における業界課題である職人不足解消に一石を投じ、若手職人を増やそうという目的を抱いております。決してロボットやAIが参入できない水回り業界の現場で働く人々にスポットライトを当て、働く魅力を伝え、楽しめるという興味を持ってもらって参入を施そうと考えています。キッチン・バス工業会では未知なることを学び、会員の皆様と共に業界の発展に貢献できるように努力しますので、どうぞご教授のほど、よろしくお願い申し上げます。

モリマーグループ
MOLYMER GROUP
MOLYMER

日本モリマー株式会社
代表取締役社長 兼 グループCEO　森 修平
（もり しゅうへい）

本社所在地：〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2丁目3番8号 三甲大阪本町ビル7階
主な取扱品目：FRPのみならず、熱可塑性樹脂、ガラス繊維等の各種材料、壁紙等、多種多様な製品
ホームページ：https://www.molymer.co.jp

この度、キッチン・バス工業会に入会させていただきました日本モリマー株式会社と申します。弊社は、1980年にプラスチック専門商社として創業し、その後、製造業にも進出、現在は傘下に国内30社の事業会社を持つグループ統括会社です。

モリマーグループは、あらゆるプラスチックのOne Stop Solution Providerとして、水回り住宅設備部材、鉄道車両部材、土木建築部材、屋外ファニチャー、塩化ビニル系壁紙、車載部品、電気電子部品、ポリ袋・ゴミ袋、タンク、体外診断用検体採取キット等を手掛けております。

お客様のご期待以上の製品とサービスをご提供するため、

グループ会社のモリマーキンキ㈱で製造販売しているテーブルベンチ。
廃プラスチックと廃木材を使用している環境に優しい商品です。

ベストプラクティスをグループ会社間で共有し、「生産革新活動」により、ダントツの生産性と品質を目指しています。近年は積極的な海外展開を図っており、中国、台湾、タイ、ベトナム、そして今年は英国に生産拠点を構えます。

会員の皆様と共に、工業会の発展に努めてまいりますので、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

代表者変更のお知らせ ※社名・団体名五十音順

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
代表取締役
Valerio Perucci
（ヴァレリオ　ペルッチ）

この度、エレクトロラックス・ジャパン株式会社の代表取締役に就任いたしましたヴァレリオ・ペルッチでございます。

平素より会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

北欧スウェーデンに本社を置くElectrolux Groupは、Swedish thinking. Better living.の考えのもと、スウェーデンの価値観に基づき、サステナブルでウェルビーイングな住まいを通じて、より良い暮らし体験を提供することを目指しています。北欧ならではの洗練されたシンプルなデザインと、高い機能性、環境に配慮した製品を展開し、使う人への細やかな思いやりに満ちたデザインや機能を日本の皆様にもお届けできるよう精進してまいります。

キッチン・バス工業会のますますの発展に向け、取り組んでまいりますのでご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

日鉄ステンレス株式会社
営業本部薄板第二営業部長
代 徹也
（しろ　てつや）

この度、キッチン・バス工業会の弊社代表者を拝命いたしました代 徹也と申します。平素より会員各社様には弊社製品をお引き立て賜り、心より御礼申し上げます。

弊社は日本製鉄のステンレス事業分社会社であり、日本製鉄グループの総合力を生かし、優れた耐食性・意匠性はもちろんのこと、レアメタル削減による価格安定性や、軽量化・抗菌等の新しい機能、更に環境にやさしいリサイクル性、更には脱炭素社会に向けた取り組みも含め「優れたステンレス製品」を供給してまいりたいと考えております。

キッチン・バス工業会会員の皆様とご一緒に、当工業会の発展に貢献できるよう取り組んでいく所存でございますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

2023年度（第39回）定時総会 開催

2023年度の総会は、リアルとWebの併用ではありましたが、2023年5月25日（木）、リーガロイヤルホテル東京 3階〈ロイヤルホールII〉で開催され、以下の議事はスムーズに進行され全ての審議事項が承認されました。

2023年度は新たに、パナソニック ハウジングソリューションズ（株）西尾匡史様が会長に就任されました。また役員の交代として、理事に東京ガス（株）吉村様が就任され、2023年度役員体制が発足しました。今年度のキッチン・バス工業会は、理事・正会員26社、賛助会員62社、合計88社の会員で新年度を迎えました。

■定時総会 概要

1.審議事項

（1）2022年度事業報告及び2023年度事業計画（案）

（2）2022年度事業収支決算報告及び2023年度収支予算（案）

（3）2023年度役員体制（案）

第1号議案～第3号議案につきましては、理事・会員全員の同意をいただき、成立しました。

2.報告事項

（1）会員移動について〈入・退会、登録社名、登録代表者変更〉

松下前会長

西尾新会長

越道常務理事

3.特別報告

（1）キッチン・バス工業会「創立60周年記念事業」について

（2）2022年度自主出荷統計について

（3）こどもエコすまい支援事業特別委員会設置について

（4）物流課題特別委員会1年継続について

（5）中企税関連特別委員会2年延長について

4.事務局報告

・第19回川柳事業の件

・今後の行事日程

〈公式行事・委員会開催行事〉

など

定時総会

■懇親パーティ

総会閉会後、3階〈ロイヤルホールI〉に場を移し、懇親パーティを開催しました。

5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になったことを踏まえ、コロナ禍前の立食ビュッフェ形式が4年ぶりに復活し、およそ150名の出席者が歓談を楽しまれ、交流を深めていただく機会になったかと思います。

松下前会長

西尾新会長

乾杯のご発声
日本ガス体エネルギー普及促進協議会
小川会長

中締め 竹内副会長

司会 田中部長

懇親会会場

2023年度 第2回 懇親ゴルフ会開催

定時総会の翌日、5月26日（金）名門相模原ゴルフクラブ（神奈川県相模原市）にて懇親ゴルフ会が開催されました。昨年は2年ぶりの開催ということでしたが、予想だにしない台風並みの暴風雨に見舞われ、自慢の腕前を十分に発揮できない方も多数いらっしゃいました。今年は8名の新規参加者を含め総勢23名の晴れ男が集結し、澄み切った青空の下、昨年のうっ憤を晴らすかのように大いにゴルフを満喫されました。また、プレー後の懇親パーティも表彰式を含め大いに盛り上がり、次回の城陽に参加の意気込みを見せる方が大勢いらっしゃいました。

なお、今回も豪華景品をご提供いただきました会員の皆様には心より御礼申し上げます。

松下前会長のご挨拶

2023年第2回懇親ゴルフ会は、9月15日（金）城陽カントリー倶楽部（京都）にて開催いたします。皆様、奮ってご参加ください。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

2023年度 工業会役員体制

会員各社の代表及び幹部の皆様で構成されており、業界一丸となり活動しています。

2023年4月20日現在（敬称略）

会　長	パナソニック ハウジングソリューションズ（株）	代表取締役 副社長執行役員 水廻りシステム事業部長	西尾 匡史
副会長	永大産業（株）	代表取締役執行役員社長	枝園 統博
副会長	クリナップ（株）	代表取締役　社長執行役員	竹内 宏
副会長	タカラスタンダード（株）	代表取締役社長	渡辺 岳夫
副会長	トクラス（株）	代表取締役社長	小泉 和弘
副会長	TOTO（株）	取締役　常務執行役員	清水 隆幸
副会長	（株）LIXIL	執行役専務 LIXIL Water Technology（LWT） Japan担当	大西 博之
理　事	積水ホームテクノ（株）	代表取締役　社長執行役員	田中 伸弘
理　事	（株）長府製作所	代表取締役社長	種田 清隆
理　事	東京ガス（株）	総合設備事業部長 兼 東京ガスリビングアドバンス（株） 代表取締役社長	吉村 恒（新任）
理　事	ナスラック（株）	代表取締役会長	左右田 稔
理　事	（株）ノーリツ	取締役 兼 専務執行役員	廣澤 正峰
理　事	（株）ハウステック	専務取締役　事業本部長	平川 昌也
理　事	富士工業（株）	代表取締役社長	柏村 浩介
理　事	（株）ベルキッチン	代表取締役社長	松本 真明
理　事	リンナイ（株）	代表取締役社長	内藤 弘康
監　事	（株）トヨウラ	代表取締役社長	坂井 良行
監　事	（株）和光製作所	代表取締役社長	西田 隆一
常務理事	工業会事務局	工業会常任	越道 昭徳

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023

2023年度 各委員会 正・副委員長名簿

2023年4月20日現在（敬称略）

委員会		会員名	氏名
総務委員会	委員長	パナソニック ハウジングソリュ-ションズ㈱	若尾 一夫
	副委員長	永大産業㈱	土井 隆義
	副委員長	クリナップ㈱	柴﨑 和彦
	副委員長	タカラスタンダード㈱	中島 宏文
	副委員長	TOTO㈱	佐藤 徳彦
	副委員長	トクラス㈱	佐藤 哲
	副委員長	㈱ハウステック	角屋 正樹
	副委員長	㈱ＬＩＸＩＬ	野村 泰之
	副委員長	リンナイ㈱	木住野 健
広報専門委員会	委員長	㈱ＬＩＸＩＬ	野村 泰之
	副委員長	東京ガス㈱	大崎 和美
	副委員長	タカラスタンダード㈱	中島 宏文
室内空気環境専門委員会	委員長	TOTO㈱	大池 研吾
	副委員長	㈱ＬＩＸＩＬ	大島 一洋
	副委員長	クリナップ㈱	吉田 光宏
仮設住宅対策専門委員会	委員長（ｷｯﾁﾝ･洗面）	㈱ＬＩＸＩＬ	中出 匡宣
	副委員長（浴室）	TOTO㈱	吉川 潤
川柳事業専門委員会	委員長	OB（ハウステック）	中山 世一
	副委員長	タカラスタンダード㈱	中島 宏文
材工課題専門委員会	委員長	パナソニック ハウジングソリューションズ㈱	吉田 博明
	副委員長	タカラスタンダード㈱	中島 宏文
	副委員長	㈱ベルキッチン	長野 邦彦
営業企画専門委員会	委員長	TOTO㈱	猪狩 純
	副委員長	パナソニック ハウジングソリュ-ションズ㈱	馬路 貴光
技術委員会	委員長	タカラスタンダード㈱	西岡田 浩章
	副委員長	㈱ＬＩＸＩＬ	池口 誠
キッチン・洗面技術専門委員会	委員長	タカラスタンダード㈱	西岡田 浩章
	副委員長	㈱ハウステック	阿部 哲弥
	副委員長	永大産業㈱	長戸 浩太郎
	副委員長	ナスラック㈱	武田 祐二
	副委員長	㈱ＬＩＸＩＬ	石川 祐佐
浴室技術専門委員会	委員長	㈱ＬＩＸＩＬ	池口 誠
	副委員長	クリナップ㈱	小林 桂
	副委員長	トクラス㈱	行森 直志
	副委員長	東プレ㈱	池田 芳清
規格基準検討専門委員会	キッチン・洗面委員長	TOTO㈱	谷口 芳人
	浴室委員長	㈱ハウステック	上田 栄治
調査統計委員会	委員長	㈱ＬＩＸＩＬ	垣田 賢
	副委員長	㈱ハウステック	角屋 正樹
	副委員長	ナスラック㈱	神谷 剛志
	副委員長	積水ホームテクノ㈱	中田 伸哉
キッチン統計専門委員会	委員長	トクラス㈱	佐藤 哲
洗面統計専門委員会	委員長	パナソニック ハウジングソリューションズ㈱	津田 峻佑
浴室統計専門委員会	委員長	TOTO㈱	和田 法子
PL関連委員会	委員長	パナソニック ハウジングソリューションズ㈱	松本 啓一
	副委員長	トクラス㈱	園川 泰浩
	副委員長	TOTO㈱	高橋 真
	副委員長	㈱ＬＩＸＩＬ	長瀬 貴志
	副委員長	㈱ベルキッチン	畑 光則
情報化推進委員会	委員長	TOTO㈱	中溝 博之
	副委員長	タカラスタンダード㈱	本木 聡
	副委員長	㈱ハウステック	藤原 広之
消費者関連委員会	委員長	㈱ベルキッチン	新井 貴子
	副委員長	パナソニック ハウジングソリューションズ㈱	松本 啓一
	副委員長	クリナップ㈱	柴﨑 和彦
	副委員長	㈱ノーリツ	長瀬 秀明
中企税関連特別委員会	委員長	トクラス㈱	行森 直志
こどもエコすまい支援事業特別委員会	委員長	クリナップ㈱	小林 桂
物流課題特別委員会	委員長	㈱ＬＩＸＩＬ	野村 泰之
ジェット噴流バス啓発委員会	委員長	㈱ノーリツ	田村 朗
電気式浴室換気乾燥暖房機啓発委員会	委員長	TOTO㈱	駒谷 直樹

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

委員会活動

JFEスチール様（西日本製鉄所／倉敷地区）を視察

PL関連委員会 2022年度委員長 畑 光則（ベルキッチン）

JFEスチール株式会社様は高炉を所有し、鉄鉱石を原料に最終製品の生産までを一貫して行う鉄鋼メーカー（高炉メーカー）です。世界トップクラスの生産能力を持ち、「常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」という企業理念のもと、お客様や社会のニーズに応える鉄鋼製品をグローバルに提供されています。また、最先端の環境調和型製鉄プロセスの構築や、高機能鋼材の開発を通じて、製造工程はもとより製品においても環境負荷の低減に貢献されています。

生産拠点は、東西の臨海型の大型製鉄所、パイプの専門工場である知多製造所と棒鋼・線材専門工場である仙台製造所で構成され、最先端の技術力による高品質な鉄鋼製品の生産を、効率的に行われています。

そこで、コロナ禍の影響で、3年ぶりの開催となったPL関連委員会の移動委員会ですが、この度は、総務委員会・調査統計委員会・営業企画専門委員会との4委員会合同の移動委員会となり、総勢23名と大所帯でJFEスチール株式会社様 西日本製鉄所（倉敷地区）を見学させて頂きました。

西日本製鉄所（倉敷地区）は瀬戸内海に臨むコンビナートに立地しており、敷地面積は約1,089万㎡、東京ドームの約240倍の広大な敷地で自動車・船・テレビや洗濯機など、様々な工業製品に使用されている鉄鋼製品を製造されています。工場見学では、見学センター館長の田中様より製鉄所のシンボルとしてそびえる巨大な高炉や、圧延工程の厚板工場、薄板工場を案内して頂きました。高炉では鉄鋼製品の基となる溶けた銑鉄がトーピードカー（次工程に運搬する容器を載せた運搬車）に出銑される迫力光景を、薄板工場では1200℃に加熱された約20tonの真っ赤な鉄が巨大な圧延機で薄く延ばされて高速でコイル状に巻き取られていく様子を見学させて頂きました。今回の工場見学で迫力ある製鉄現場を目の当たりにして皆、目や耳、肌で感じ取れた素晴らしい体験ができました。また、体験型施設の展示ホール「鉄の学び館」では鉄を100kg製造するのに必要な原料や製鉄の歴史、地球と鉄の不思議な関係などについて楽しく・ご丁寧な説明を頂きました。

生活の中のあらゆる所で使用されている「鉄」の製造工程や特性について勉強させて頂き、ありがとうございました。

西日本製鉄所（倉敷地区）の航空写真

展示されているスチールコイル前での集合写真

展示パネルで、圧延工場の概要説明を聞く

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

西部ガス様（ひびきLNG基地）、九州電力様（八丁原地熱発電所）を視察

広報専門委員会 松本 賢治（TOTO）

広報専門委員会では2023年2月22日～23日に移動委員会を開催しました。移動委員会は2019年7月以来、約3年半ぶりとなります。

政府の脱炭素推進が加速するなか、工業会でも環境への知見を深めることが重要と考え、会員企業の西部ガス株式会社様にご協力いただき、同社のひびきLNG基地を視察しました。キッチンの調理機器、浴室の給湯等のエネルギーに欠かせない都市ガスの主原料である液化天然ガス（以下LNG）は海外から輸入されます。マレーシア等からの海外調達の利便性を考慮し、ひびきLNG基地は日本海に面する北九州市若松区に位置し、北部九州における産業用、ご家庭用の天然ガス供給拠点として、2014年11月より運用を開始しています。基地面積は福岡PayPayドームの5個分という広大な大きさです。

視察ではまずLNGを気化させて都市ガスへ生成する過程や仕組み、天然ガスの主成分であるメタンがCO_2排出と有害物質が少なく、水素の社会利用が可能で環境にやさしいこと、気化する際にCO_2排出量に対し水蒸気量率が高く、喉にやさしい＝人にやさしいといった特徴について説明いただきました。

その後、基地内主要設備をバスで巡回し、大型旅客機2機分の容量のあるLNGタンクやLNGを気化させるLNG気化器等を確認しました。普段このような設備を間近に見ることができないため、大変貴重な機会でした。また、事務所用電力に太陽光発電、風力発電、水力発電といった施設も紹介いただき、再生可能エネルギーを有効活用し、省エネ・CO_2削減に努められていることを実感しました。

視察の最後には事務所屋上から同基地全体を俯瞰しました。同社は総合エネルギー基地を目指し、同基地の隣接に22.4メガワットを有する太陽光発電エリア、2025年度運転開始を予定するCO_2排出量を抑制した新しい火力発電施設の整備が進められているとのことです。日本海側に集積している響灘風力発電施設の壮観な姿も眺望することができ、「世界の環境首都」を目指す北九州市によるクリーンエネルギーの積極的な取り組みも知ることができました。

翌23日にはわが国最大の地熱発電所である九州電力株式会社八丁原地熱発電所を視察しました。くじゅう連山や阿蘇くじゅう国定公園の山々に囲まれ、地熱エネルギーに恵まれた立地で、1977年に営業開始しています。地熱発電は、深いもので3,000m地中深くまで井戸を掘り（蒸気井）、地下深部の地熱貯留層から蒸気と熱水を取り出し、蒸気を発電に利用した純国産の再生可能エネルギーです。日本のエネルギー資源は決して豊かではありませんが、日本特有の自然の力を利用したクリーンな発電方法を体感し、脱炭素社会を実現するためのエネルギー供給への希望と持続性を感じました。

これらの施設視察を通じ、参加者一同、改めて環境への貢献意識が醸成され、大変有意義な視察となりました。

最後に、西部ガス様にはコーディネート等、種々お世話になり、感謝申し上げます。ありがとうございました。

ビデオ映像に基づき、ひびきLNG基地の概要説明を聞く

八丁原の地熱発電設備の説明を聞く

青空のもと、LNGタンク前での集合写真

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

TOPICS 1

各委員会2023年度事業計画

◆ 総務委員会

- 工業会の地位・認知度向上の推進
  「キッチン・バスの日」式典、賀詞交歓会等の公式行事の推進
  「キッチン・バスの日」周知推進、その他の施策検討
  2025年のキッチン・バス工業会60周年に向けた施策検討開始
- 傘下の6委員会課題の推進
- 各種課題に対応するための体制、規程類の整備
- 会員拡大の施策検討と推進
- 関連行政機関・団体等との連携強化の推進
- 関連法令や行政施策の情報収集と共有化
- 移動委員会の開催

＊傘下専門委員会事業計画

◇川柳事業専門委員会

- 第19回川柳事業の推進

◇仮設住宅対策専門委員会

- 応急仮設住宅仕様の流し台、洗面台、システムバスの供給可能能力・図面の精査

◇ 広報専門委員会

- 広報誌「K・B通信」の発行（年2回）
- 工業会行事等の応援、取材（「K・B通信」等で情報発信）
- ニュースリリースの発行

◇ 室内空気環境専門委員会

- 関連規制・環境リスク情報収集と対応
- シックハウス問題に関する最新研究動向の把握（関連学会等参加）
- VOCガイドラインの管理・運用

◇ 材工課題専門委員会

- 建設業法に関する業界の情報共有
- 標準見積書ガイドライン≪2023年度版≫作成
- 工事区分ガイドライン見直し
- 建設廃棄物処理に関する情報共有
- 石綿障害予防規制の情報共有

◇ 営業企画専門委員会

- （一社）日本ガス協会など関連団体とのキッチン・バス拡販についての意見交換活動の推進

◆ 技術委員会

［キッチン・洗面技術専門委員会、浴室技術専門委員会共通事項］

- カーボンニュートラルに向けた環境対応の推進
- 商品技術動向及び変遷の調査
- 関連情報の収集
- 他の委員会との連携

◇ キッチン・洗面技術専門委員会
◇ キッチン規格・基準検討専門委員会
◇ 洗面規格・基準検討専門委員会

- 技術課題の検討
- 規格基準の調査と検討
- その他

◇ 浴室技術専門委員会
◇ 浴室規格・基準検討専門委員会

- 技術課題の検討
- 規格基準検討活動
- その他

◆ 調査統計委員会

- 自主出荷統計内容の充実
- 統計3専門委員会の充実（キッチン・洗面・浴室の各専門委員会）
- 調査統計要綱の見直し検討

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

◆ PL関連委員会

- クレーム・事故例の収集と対応策の検討
- 製品安全に対する啓発
- 他団体との成果物の管理について
- 関連他団体、関連機器メーカーとの交流会

◆ 情報化推進委員会

- IT技術の調査・研究
- 工業会ホームページのアクセス状況の分析と報告
- 会員企業の情報処理実態調査の継続実施
- 工業会の業務効率化のためのITサポート推進
- 会員企業の情報システム部門の交流促進

◆ 消費者関連委員会

- 幅広い商品知識啓発の推進
- 消費者向け情報発信の更新
- 当工業会の他の委員会、関連団体、関連業界との交流
- 消費者関連法令等の情報収集、共有

［特別委員会］

◆ 中企税関連特別委員会

- 中小企業等経営強化法に基づく証明書発行団体としての対応を継続
- 事業期間は2025年3月31日までの予定

◆ こどもエコすまい支援事業特別委員会

- 制度運用方法等の課題検討と、国土交通省、経済産業省、制度事務局、関係団体との調整
- 制度の会員周知
- 対象製品「掃除しやすいレンジフード」「高断熱浴槽」の審査委員会参画、関係団体審査のサポート
- 関連する他制度の運用調整

◆ 物流課題特別委員会

- 2022年に完成したガイドライン、パンフレットを活用したさらなる業界周知
- 課題に向けた施策を進め意見交換し会員の具体的な取り組み等を共有
- 当工業会の意見反映を目的に行政のWG等への参加

［製品安全推進会議］

◆ ジェット噴流バス啓発委員会

- 各社吸い込み口カバーの捕捉、無償交換を継続実施
- 各社の捕捉活動を加速するための情報発信を実施
- 上期、下期の年2回、自主点検進捗を集計し共有する

◆ 電気式浴室換気乾燥暖房機啓発委員会

- 各社の市場点検の推進状況の把握と情報交換
- 事故情報の把握と市場リスクの情報共有
- 日本電機工業会と連携し、リスク対応を推進

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

TOPICS 2

第19回「台所・お風呂の川柳」募集開始

川柳事業専門委員会 委員長　中山 世一（ハウステックOB）

今年も「台所・お風呂の川柳」の募集が5月1日から始まりましたが、この川柳事業の目的はキッチン・バス工業会を多くの人に知ってもらおうということです。毎年多くの人々からのご応募をいただいており、表彰式での入賞者のご意見や出席者の反響を聞いても大変評判が良いようです。

これからは上記目的のため、今以上に多くの一般の人々に応募をしていただくことが大事だと思います。そのために川柳事業専門委員会でも議論を重ね、色々とアイデアを出し合い実行に移しています。例えば、賞品も数年前とはだいぶ変わってきています。また、川柳協賛団体が行っている事業の一つに「下水道展」があり、ここでの川柳応募活動も成果となっています。幸い応援していただける経済産業省、こども家庭庁、国土交通省の後援もあり、協賛いただける団体も増えてきております。

来年は川柳事業もちょうど20回目を迎えます。当工業会も再来年には60周年を迎えることとなります。これを機会に川柳事業を大いに盛り上げるキャンペーンができればと考えております。総務委員会や広報専門委員会など他の委員会のご協力を得て、また理事会のご理解を得ながら進めることができればと思います。

コロナ禍もなんとか収まりそうな状況となる一方、回数を重ねるごとに、幸い世間にも当川柳事業が認められ定着しつつあり、TVや雑誌などでも取り上げられることが多くなってまいりました。何とかして弾みをつけ、今後の工業会の発展のため皆様方の応援を得ながら努力していきたいと思います。

これからも経済産業省、こども家庭庁、国土交通省のご支援と、川柳協賛団体、会員企業のますますの応援ご協力をお願い申し上げます。

第19回 台所・お風呂の川柳 募集・応募チラシ

第18回 表彰式集合写真

キッチン・バス大賞の受賞模様

総評を述べる中山委員長

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

統計情報

2022年度 自主出荷統計概況

調査統計委員会 委員長　垣田 賢(LIXIL)

■新設住宅着工戸数

新設住宅着工戸数は、2019年度は貸家大幅減の影響から全体で90万戸を切る水準となった。2020年度はコロナ禍の影響により持家、貸家、分譲とも大きく減少、全体で81.2万戸まで減少となった。2021年度は持家、貸家、分譲ともに回復に向かい、全体では前年比7%増、86.6万戸となった。着工戸数は長期減少傾向にあるが、2021年度の86.6万戸は、コロナ禍前2019年度の98%の水準まで戻っている。2022年度は貸家、分譲は引き続き前年超えとなったものの、持家が1割以上の落ち込みとなり、全体では前年比99.4%の微減、86.1万戸にとどまった。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
新設住宅着工戸数(合計)	952,936	883,687	812,164	865,909	860,828
新設合計対前年比	100.7%	92.7%	91.9%	106.6%	99.4%
持家対前年比	102.0%	98.5%	92.9%	106.9%	88.2%
貸家対前年比	95.1%	85.8%	90.6%	109.2%	105.0%
分譲対前年比	107.5%	97.2%	92.1%	103.9%	104.5%

■キッチン

キッチン総計の推移は、2019年度は消費増税の影響は軽微で前年比1%程度の減少にとどまったが、2020年度はコロナ禍が大きく影響し、セクショナルキッチンは小幅な減少、システムキッチンは2桁減少となり、全体でも前年比8%の減少となった。2021年度は回復傾向がみられ、システムキッチンは前年比2%増、セクショナルキッチンは引き続き3%減となり、キッチン総計では前年比1%増となった。2022年度はシステムキッチンが引き続き前年比2%増となったものの、セクショナルキッチンが9%と大きく減少し、キッチン総計では99.6%とわずかながら減少となった。キッチン総計の出荷台数では158万台となり、2019年度比では92%の水準にとどまっている。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
キッチン総計	1,743,948	1,720,450	1,575,615	1,586,240	1,579,240
キッチン総計対前年比	98.7%	98.7%	91.6%	100.7%	99.6%
システムキッチン対前年比	99.7%	99.1%	89.7%	102.0%	102.1%
セクショナルキッチン対前年比	95.5%	97.3%	97.8%	96.5%	91.4%

■洗面化粧台

洗面化粧台は、2021年度は4年ぶりの増加となっていたが、2022年度はふたたび減少となり、2%の減少となった。2022年度の洗面化粧台出荷台数は170万台で、2019年度比では94%の水準となっている。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
洗面化粧台総計	1,814,878	1,804,275	1,688,250	1,742,194	1,704,851
洗面化粧台計対前年比	98.4%	99.4%	93.6%	103.2%	97.9%

■浴室

システムバスと単体浴槽を合わせた浴室総計では、2020年度の2桁減少から2021年度は2%増と小幅に回復、2022年度は微増ながら1%の増加となった。浴室総計出荷台数は146万台と2019年度比で91%の水準となっている。

浴室総計の93%を占めるシステムバスは、2020年度は前年比12%と大幅減となったのち、2021年度は3%増、2022年度は1%増となった。

一方、単体浴槽は2012年度から11年連続と長期減少傾向が続いており、2022年度も4%の減少となった。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
浴室総計	1,631,426	1,607,748	1,414,994	1,447,542	1,460,192
浴室対前年比	99.4%	98.5%	88.0%	102.3%	100.9%
システムバス対前年比	99.9%	98.9%	87.9%	102.9%	101.3%
単体浴槽対前年比	93.8%	94.7%	89.1%	95.7%	95.5%

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

行政情報

各種行政情報については、これまでも会員の皆様には総括責任者様を通じて、都度情報発信させていただいており、特に重要な内容に関しては、各委員会での活動内容とともに、K・B通信でもご紹介しております。K・B通信では、過去半年の行政関連情報について、ご紹介しきれていない内容も含め、皆様に改めて整理してお知らせします。

2023年3月17日 国土交通省リリースより（経済産業省・環境省同時発表）

住宅省エネ2023キャンペーンの交付申請（予約を含む）の受付を3月 31 日（金）から開始します！

国土交通省、経済産業省、環境省の３省連携により行う「住宅の省エネリフォーム支援」及び国土交通省が行う「ＺＥＨレベルの省エネ性能を有する新築住宅の取得への支援」について、交付申請（予約を含む）の受付を３月 31 日（金）に開始します。

１．交付申請の概要

①受付開始日　：令和５年３月 31 日（金）午前 10 時
②申請可能時期　：（新築）補助額以上の工事出来高に達した後
　　：（リフォーム）工事完了後
③受付サイト　：https://jutaku-shoene2023.mlit.go.jp/
※ 上記サイトの「住宅省エネポータルへログイン」ボタンよりログインします。ログインにあたっては、本キャンペーンのホームページからあらかじめ事業者登録をした上で、担当者アカウントの発行を受けている必要があります。

２．交付申請の予約（任意）の概要

①受付開始日　：令和５年３月 31 日（金）午前 10 時
②申請可能時期　：（新築・リフォーム）工事着手後
③受付サイト　：同上
④予約の効果　：補助金の予算を一定期間（３カ月間又は令和５年 12 月 31 日のいずれか早い日まで）確保可能
※ 予約後３カ月以内又は令和５年 12 月 31 日のいずれか早い日までに交付申請がなかった場合、当該予約は取り消されます。

３．交付申請（予約を含む）の期限

予算上限に達するまで（交付申請は遅くとも令和５年 12 月 31 日まで、交付申請の予約は遅くとも令和５年 11 月 30 日まで）とします。
お早めの申請をおすすめします。

４．参考資料

（別添１）住宅の省エネリフォームへの支援の強化
（別添２）こどもエコすまい支援事業の概要

https://www.meti.go.jp/press/2022/12/20221227004/20221227004-1.pdf
https://www.env.go.jp/press/press_01307.html

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

年月日	関係省庁など	内容関連リンク先　掲載対象期間：2022年12月1日～2023年5月30日
2023年 5月26日	経済産業省	（環境省同時発表）「カーボンフットプリント 実践ガイド」を作成しました https://www.meti.go.jp/press/2023/05/20230526001/20230526001.html
2023年 5月26日	環境省	（経産省同時発表）「カーボンフットプリント　ガイドライン」（別冊）CFP実践ガイドの公表について https://www.env.go.jp/press/press_01576.html
2023年 3月17日	国土交通省	「良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度」についてのWEB動画を配信します！ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001149.html
2023年 3月17日	国土交通省 経済産業省 環境省	住宅省エネ2023キャンペーンの交付申請（予約を含む）の 受付を3月31日（金）から開始します！ 国交省 https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001147.html 経産省 https://www.meti.go.jp/press/2022/03/20230317002/20230317002.html 環境省 https://www.env.go.jp/press/press_01307.html
2023年 1月23日	国土交通省	令和5年度　予算概要 https://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_008870.html
2022年12月27日	国土交通省	住宅省エネ2023キャンペーン はじまります！ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001136.html
2022年12月23日	国土交通省	住宅局 こどもみらい住宅支援事業の実施状況についてお知らせします（令和4年11月末時点） https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001134.html
2022年12月23日	国土交通省	令和5年度　国土交通省　予算概要 https://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_002459.html
2022年12月23日	経済産業省	令和5年度　経済産業省　関連予算案等の概要 https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/index.html
2022年12月23日	環境省	令和5年度　環境省　重点 https://www.env.go.jp/guide/budget/r05/juten.html
2022年12月16日	国土交通省	住宅局 こどもエコすまい支援事業の要件の見直し等について ～契約日にかかわらず、令和4年11月8日以降の対象工事への着手を対象にします～ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001132.html
2022年12月 9日	環境省	地球環境局「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の進展状況について https://www.env.go.jp/press/press_00878.html

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023

VOICE

改めて重要性を認識したい独占禁止法

弁護士 秋野 卓生
（弁護士法人匠総合法律事務所）

1 独占禁止法に関する法律相談の増加

最近、独占禁止法に関する法律相談を多く受けています。

消費税インボイス制度の導入に伴い、免税事業者にインボイス登録を強制することは独占禁止法が禁じる優越的地位の濫用にあたるのではないか、といった法律相談や、電気代高騰を受け、プレカット業者の団体が、住宅会社・工務店向けに値上げの要請文書を発出することは独占禁止法上許されるか？といった法律相談です。

特に、原価高騰を受け、立場の弱い下請事業者は、1社単位で値上げを申し出る勇気がないので、事業者団体として値上げのお願い文書を出したいという気持ちはよく分かります。

しかし、事業者団体が、構成事業者が供給し、もしくは供給を受ける商品もしくは役務の価格を決定し、またはその維持もしくは引き上げを決定し、これにより市場における競争を実質的に制限することは、独占禁止法第8条第1項第1号の規定に違反するとされていますので、安易な文書発行は控えるようにとアドバイスをしています。

2 事業者団体として、どこまでの文書ならOKか？は

事業者団体が、業界の窮状を訴える文書を作成し、取引先に配布することは、直ちに独占禁止法上問題となるものではないといわれています。

しかし、文書の内容は業界の窮状を訴えるものであっても、当該文書の作成等を契機として会員事業者間で競争制限的な行為が行われるような場合には、このような文書の作成自体が独占禁止法上の問題を生じることとなるといわれており、線引きが非常に難しいのです。

要請文書の表題を「価格是正についてのお願い」としたり、文中に「価格是正の御協力を賜りますよう」と記載するなど、建設資材の値上げについて、協会など事業者団体として後押しする内容の場合には、独占禁止法違反となってしまいます。

3 不当な取引制限

大手電力会社による談合事件など、入札談合やカルテルといった独占禁止法が禁止している不当な取引制限に関する報道が多くなされています。

この入札談合やカルテルがどうしてバレるのか？

最近は、何といっても課徴金減免制度といって、事業者が自ら関与したカルテル・入札談合について、その違反内容を公正取引委員会に自主的に報告した場合、課徴金が減免される制度が積極的に活用されています。

要するに、一番最初に公正取引委員会に自主的に報告すれば高額の課徴金が免除されるのです。

コンプライアンスの意識の高まりから、特に大手企業では、内部通報窓口や外部通報窓口で、当該企業における法律違反の事実を収集しています。

この通報窓口に入札談合やカルテルに関する情報提供が寄せられると、企業は、調査委員会を立ち上げて、調査を実施する。

そして、社内調査の結果、独占禁止法違反の事実が認められれば、弁護士は、課徴金減免制度の活用とともに、公正取引委員会への報告をアドバイスする。

そうして、公正取引委員会は、独占禁止法違反容疑に基づき、調査を開始するといった流れができているのです。

談合は、昔、必要悪といわれた時代もありましたが、課徴金リスクを考えれば、そもそも手を付けないのが一番です。

4 原価高騰による販売価格引き上げ

原価高騰による販売価格の引き上げが相次ぐ、今、現状、もっとも気をつけなければならないのが、カルテルです。

独占禁止法に関する知識不足が、命取りとなりかねません。

改めて独占禁止法に関する講習など勉強をする機会を持っていただきたいと思います。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

事務局

お知らせ

常務理事　越道 昭徳

今年で4年目に突入したコロナ禍ですが、3月からの「マスク着用の個人判断」や5月ゴールデンウイーク明けからの「コロナ2類から5類への移行」など、徐々に収束の兆しが見えつつある状況となっています。

当工業会も、5月の定時総会を3年ぶりにリアル参加を基本としたWebとのハイブリッド形式での開催とし、定時総会後の懇親パーティでは、1社3人迄の限定枠ですが、ビュッフェ形式での立食パーティで開催することができました。

また各委員会では、正式な懇親会の開催や秋口からの移動委員会の再開など、当工業会が本来目指す、会員相互のコミュニケーション重視の運営に戻りつつあります。

当工業会事務所の位置する浜松町界隈でも、人の往来が増え、コロナ禍前の活気が戻ってきているのと同時に、インバウンドの姿（特に欧米人が中心）が目立つようになりました。

このような日常の中、今回お伝えする『事務局』は、事務所に来られた方には馴染みの蕎麦屋さん（工業会御用達）である芝大門『更科布屋』について蘊蓄（うんちく）を少々・・・。

芝大門　更科布屋

■創業220年の老舗蕎麦屋さん

芝百年会（徳川家の菩提寺「増上寺」界隈の芝地区で元禄から大正の初期までに産声を上げた創業百年以上の商家からなる会）の一つとして、増上寺の門前、芝大神宮の境内に位置する更科布屋は、当代で7代目となる歴史ある蕎麦屋さんです。現在の7代目ご当主は、江戸庶民文化に造詣が深く「店主の独り言」として江戸四方山話（蘊蓄（うんちく））を小さい紙切れにしたため、月一話、店のテーブルに差し立てており、なんとその数既に180余り、こんなところにもこの店の食へのこだわりが垣間見ることができます。また、粋な東京の老舗蕎麦屋さんですが、平日昼時は11時の開店時からサラリーマンで行列のできる店です。

更科布屋

店主の独り言

■更科布屋の蕎麦

蕎麦の種類は、オーソドックスな品揃えとなっています。

①二八（にはち）そば：主として北海道産そば粉を8割・小麦粉2割

②生粉（きこ）うち：そば粉100%、全国から厳選した新そば粉を使用

③更科そば：そばの実の芯の部分だけを使用、ほんのり甘い純白のそば

■季節の変わりそば（更科布屋オリジナル）

更科そばに季節の香りを打ち込んで旬の味をお届けします。

一月 唐辛子切り／二月 梅切り／三月 桜切り・茶そば／四月 よもぎ切り／五月 山椒切り／六月 紫蘇切り／七月 笹切り／八月 青柚子切り／九月 生姜切り／十月 菊・卵切り／十一月 青のり切り／十二月 柚子切り

■おすすめの品書き

蕎麦類に関しては、何を食べても う・ま・い と唸ってしまいます。特にランチタイムのおすすめは、天丼／かつ丼／親子丼＋カレー南蛮or蕎麦セットです。1,050円で味はもちろん満腹感も上々です。しかし私個人としては「カレーせいろ蕎麦」が絶品です。冷たいせいろ蕎麦に温かい和風出汁の甘辛いカレーだれをつけて啜（すす）るせいろは癖になる味です。ぜひ一度…

親子丼と蕎麦セット

カレーせいろ蕎麦

■月曜日と雨の日だけの特典

常連さんは誰もが承知しているのですが、月曜日と雨の日は、色々なお蕎麦を大盛にしても、普通盛りと同じ値段になります。リーズナブルに満腹感を味わいたい方は当工業会の事務所にお昼時おいでの際、月曜日か雨の日を狙ってお越しください！！

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る

No.25 編集委員

発行責任者：野村 泰之（LIXIL）
編　集　長：柴﨑 和彦（クリナップ）
編 集 委 員：石井 博之（渡辺製作所）
井上 知春（ナスラック）
大崎 和美（東京ガス）
佐藤　哲（トクラス）
潮田 栄二（パナソニック ハウジングソリューションズ）
高橋 絵里（三菱ケミカル・クリンスイ）
中島 宏文（タカラスタンダード）
藤野 豪洋（積水ホームテクノ）
松本 賢治（TOTO）
宮坂　浩（ノーリツ）
越道 昭徳（事務局）
田中 朋子（事務局）

ころもがへ
更衣　明るき色を　選びけり

朋子

編集後記

5月8日に感染症法上の位置付けが「5類」への移行とともに、3年前に初めて耳にした“アフターコロナ”がいよいよ始まりました。行動制限も廃止され、マスク着用も個人の判断に委ねられることになりましたが、テレワーク・テレスクール・オンライン診療などは恒久化に向けて議論がなされています。

確かに非対面でのコミュニケーションは、生産性や利便性の向上につながるとは思います。しかし、情報の共有・交換はできますが、相手を思う気持ちとしての肌感・空気感の共有が薄まっているのではないかと感じています。

このようななか、国内外の旅行者の増加やマスクやアクリル板の撤廃等、徐々にではありますが着実に従来の日常に戻りつつあり、今回の『K・B通信』も、家庭でのコミュニケーションの中心となるキッチン・バスに関わる会員会社様に向けて、無事にお届けできたと安堵しております。

私事で恐縮ですが、子どもの独立といった変わらざるを得ない家族の変化に合わせて、キッチンを家の中心にリフォームしました。対面型のレイアウトと相まって、肌感・空気感が共用できる風通しの良い新生活様式が、初夏の風と共に訪れました。

広報専門委員会 編集委員　宮坂 浩（ノーリツ）

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
キッチン・バス工業会

工業会のホームページは情報の宝庫です！
キッチン・バス　検索
https://www.kitchen-bath.jp/

発　行　日：2023年6月20日
発行責任者：広報専門委員会 委員長　野村 泰之

『K・B通信』に関するお問い合わせは下記Eメールへお願いします。
E メ ー ル：kitchen.bath@nifty.com

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2023
表紙へ戻る